

「社会を意識した投資をするための読書案内」

坂本光司「日本でいちばん大切にしたい会社」

企業経営とは「五人に対する使命と責任」を果たすための活動。

1. **社員とその家族を幸せにする**
社員が幸せであってこそ、お客様に良いサービスを提供できる。
2. **外注先・下請企業の社員を幸せにする**
赤字を下請に押しつけてはダメ。誰かの犠牲の上に成立つ組織は正しくない。
3. **顧客を幸せにする**
社員と外注企業の満足度を高めることが、顧客満足度を高めることにつながる。
4. **地域社会を幸せにし、活性化させる**
日常的な企業活動を通じて、地域住民の誇りとなる。
5. **自然に生まれる株主の幸せ**
上記4人の満足度を高めれば、株主の満足度も必然的に発生する。株主に対する使命と責任は、目的ではなく結果として実現する。

条件を満たす「いい会社」を紹介し続け、現在シリーズ第6巻まで発売中。



この本と出会いをきっかけに、
株主として誇れる企業に投資したい! との想い。
運用期間が長くなるほど「配当」が重要になる。
良い事業の結果として残る利益から配当を得たい。

個別株への投資だけではなく、**投資信託**という選択肢もある。

【損益計算書から見る企業と社会の関わり】

売上高	...	顧客
売上原価	...	取引先
売上総利益		
販売費・管理費	...	従業員、取引先
営業利益		
営業外損益	...	債権者
税引き前利益		
法人税等	...	国、地方公共団体
当期純利益		
配当	...	株式投資家

上位の利害関係者と良好な関係を築いている企業に投資したい。

鎌田恭幸「日本でいちばん投資したい会社」

鎌倉投信・鎌田社長の著書。

創業準備中に坂本光司教授の著書と出会い、運用方針が決まったことが明かされる。

鎌倉投信の投資信託「結い2101」

「いい会社」への投資で、投資家の長期的な資産形成と社会の持続的発展に貢献する。

鎌倉投信にとっての「いい会社」とは？

- これからの日本に必要とされる企業
- 社員とその家族、取引先、顧客・消費者、地域社会、自然・環境、株主等を大切に、持続的で豊かな社会を醸成できる企業



河口真理子「ソーシャルファイナンスの教科書」

収益性と社会性の両立が金融本来の姿であることを説くことから始まり、近年のマイクロ投資や独立系運用会社の個人投資家への広がりや、サステナブル投資に関心を向け始めた機関投資家・年金基金の動きを紹介。さらには金融の力で解決できるかもしれない様々な社会問題まで網羅。投資対して良いイメージを持っていない方々に読んで欲しい一冊！

【社会問題の各論を学ぶ】

原文人「21世紀の国富論」

ジョン・ボーグル「波瀾の時代の幸福論」

金融（投資家）が強くなりすぎたことで、企業は株主利益を重視せざるを得なくなり、社会のバランスを崩れ始めた。

奥村宏「資本主義という病」

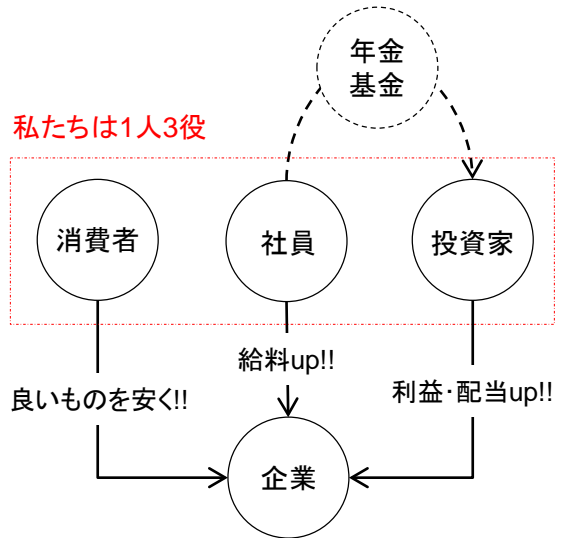
株式会社の制度設計に問題が？

ジェフリー・サックス

「地球全体を幸福にする経済学」

気候変動や生態系の破壊、貧困問題など、今の国際社会が抱える問題を網羅。

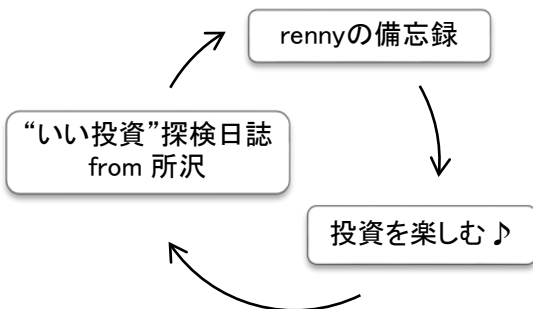
年金基金を通じ、誰もが投資家



ブログ連載

本日のスーパ〜株式投資をめぐる三重奏〜

著名な個人投資家お二人とのリレー連載。単なるお金儲けに留まらない投資の魅力を、個人投資家の視点で伝える企画。



【資産運用に関する名著】

木村剛「投資戦略の発想法」

投資をはじめるにあたり、最初に読みたい。著者が某事件で逮捕され絶版となるが、古本でもいいから手に入りたい名著。

竹川美奈子「投資信託にだまされるな」

少額で株式・債券に投資できる投資信託。6000本超の投信が販売されているが、買っていいものは一握り。その見分け方は？

吉田 喜貴 (よしだ よしたか)

1978年生まれ。投資家・日本文化研究家。

ブログ「投資を楽しむ♪」連載中。→<http://www.pixy10.org/>